

令和 7 年度事業計画

1 基 本 方 針

東日本大震災とこれに伴う原子力発電所の事故を契機に、人々の間に大きな価値観や意識の変化が生じ、大量生産・大量消費から省資源・省エネルギーへの転換がより一層加速した。

また、2015年9月、国連において、社会の問題を解決し、よりよい未来を迎えるために、2030年度に向けて世界が合意した国際目標「^{エス・ディー・ジーズ}SDGs（持続可能な開発目標）」が採択された。

環境パートナーシップやまなしは、これらの動向を踏まえ、これまで以上にごみの減量や使い捨てプラスチック製品の使用削減、省エネ、3R運動等日常生活や事業活動に起因する環境活動を推進し、環境に配慮した新しいライフスタイルやビジネススタイルが根付くよう努めていく。

また、本県の優れた自然環境を次の世代の子どもたちに引き継いでいくため、個人、各種団体、企業、行政との交流と協働による具体的な実践活動を実施し、持続可能な社会実現に向けた県民運動を広く進めていく。

2 事 業 内 容

（1）定期総会の開催

- ・日時 令和7年6月8日（日）
- ・場所 山梨県防災新館 オープンスクエア
- ・内容 令和6年度事業報告及び収支決算
令和7年度事業計画及び収支予算
会則の改正
会長、副会長及び監事の選任
企画委員の選任

（2）活動情報の交換及びネットワークづくりのための事業

○広報誌の発行

（発行スタイル）

- ・年4回の発行を基本とする。
- ・会員向けの会報的なものとし、A4判4ページを基本形とする。

（編集方針）

- ・会員相互のパートナーシップを深めるため、本会の活動計画や活動報告を掲載する。
- ・会員紹介や会員の特徴のある活動をPRし、環境活動を広めていく。
- ・会員からの環境に関する意見・提言等の投稿を募り、それを発信していく。
- ・会員作成のチラシなど要請に応じ同封して送付する。
- ・会員リレートークを継続して実施していく。

（その他）

- ・各団体等への配付にあたっては、希望数に応じられるよう努力する。

- ・また、県ホームページへの掲載・電子メールでの配信など会員の利便性向上に努める。

○会員の募集

積極的な広報活動を行い、より一層の会員の拡大（募集）を図る。

○ネットワークづくりの検討・拡大

会員のネットワーク化及び主体的な事業参画の検討をし、拡大を図る。

（３）３Ｒ・温暖化対策実践活動推進のための事業

○エコライフお絵かき・川柳コンテストの開催

省エネ、マイバッグ、マイはし、３Ｒなどの「エコライフ」を題材として、県内の幼稚（保育）園児や小学生、中学生を対象とした「お絵かきコンテスト」を、全年齢層を対象とした「川柳コンテスト」を開催することにより、大人だけでなく子どもたちを巻き込んだ普及啓発活動を展開し、３Ｒ及び温暖化対策実践活動の推進を図る。

○３Ｒ推進、地球温暖化防止に関するネットワークフォーラムの開催

県民への意識の定着化を進めるため、関係団体に働きかけ、エコライフの普及や地球温暖化防止に関するネットワークフォーラムを実施する。

○環境に関するイベント等への参加

県民の日記念行事等のイベントにおいて、環境パートナーシップやまなしのブースを設置し、本会のＰＲや活動内容の紹介、各種環境パンフレットの配布等を実施する。

（４）県事業との協働等

○県事業との協働及び民間活動団体に対する後援等によるネットワークの拡充

「“人と環境にやさしい交通”県民運動」、「ボランティア・ＮＰＯ活動推進月間」、などに積極的に参画し、実践活動を行っていく。

（５）会議の開催

○役員会

○定期総会

○企画委員会